

高効率リアルタイムPCR用マスターミックス KOD SYBR[®] qPCR Mix

GCリッチ等の難配列の増幅に最適。今まで設計したプライマーを使用可能。

KOD SYBR[®] qPCR Mixは、KOD DNA polymerase (KOD) を使用したSYBR[®] Green I 検出系によるリアルタイムPCR用マスターミックスです。3'→5' エクソヌクレアーゼ活性(校正活性)を除去したKOD exo(-) DNA polymeraseと最適化されたバッファー条件を組み合わせることで、KODの『優れた合成能』や『クルード成分の阻害を受けにくい』という性質を最大限に発揮し、安定したリアルタイムPCR解析が可能になりました。



特長1 長鎖ターゲットの増幅が可能(～2kb)

KOD DNA Polymeraseの特長を活かして長鎖ターゲット増幅での定量性に優れます。プライマーの選択幅が格段に広がり、2kbまでのターゲットであれば、多くの場合今まで設計したプライマーをそのまま用いることも可能です。

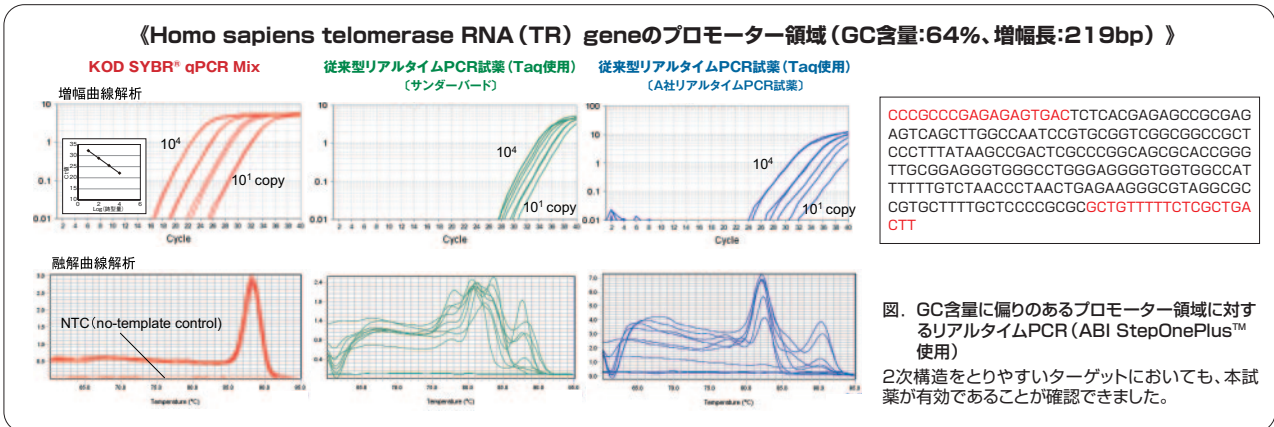
また、2kbまでの様々なターゲット長を選択できるため、幅広い融解曲線解析が可能です。プライマーダイマーの発生領域(短鎖領域)を外して増幅領域を選べるため、エンドポイントアッセイを用いる多型解析、マルチプレックスPCR解析などに有利です。

従来の試薬との比較

	従来品 (Taq使用)	KOD SYBR [®] qPCR Mix
酵素	Taq DNA Polymerase	KOD DNA Polymerase [exo(-) mutant]
増幅長	70 ~ 300 bp	70 ~ 2000 bp
GCリッチなターゲット	増幅しにくい	増幅しやすい
阻害物質の影響	受けやすい (DNAの精製が必要)	受けにくい(クルードサンプルから直接増幅可能)

特長2 GCリッチターゲットに対応

KOD DNA polymeraseを使用することで、Taq DNA polymeraseを用いる従来品では困難であった塩基に偏りがあるような配列やプロモーター近傍の2次構造をとりやすいようなターゲットにおいても、定量的な増幅が認められます。



特長3 クルードサンプルを用いる解析が可能

クルード成分による阻害を受けにくいため、血液やマウステール、植物ライセート等を用いるアッセイが可能です。長鎖増幅やTail配列を付加したプライマーを用いる増幅によるジェノタイピング解析等に応用することができます。

特長4 高い特異性

プライマーダイマーなどの非特異的反応を抑えることで、低コピー域までの幅広い定量を可能とします。また、弊社リアルタイムPCR用cDNA合成キット「ReverTra Ace[®] qPCR RTシリーズ」を併用することで安定した検出が得られます。

品名および内容	包装	保存温度	Code No.	価格
KOD SYBR [®] qPCR Mix ・KOD SYBR [®] qPCR Mix ・50×ROX reference dye	1ml×1本 [40回用]	-20℃	QKD-201T	¥9,800
	1.67ml×3本 [200回用]	-20℃	QKD-201	¥32,000
	(1.67ml×3本)×5 [1,000回用]	-20℃	QKD-201X5	¥147,000

*50×ROX reference dyeがマスターミックスとは、別添付されています。

*包装欄に記載の反応回数は、50μl反応時のものです。容量は、KOD SYBR[®] qPCR Mixのみ示しています。

*SYBR[®]、StepOnePlus™はThermo Fisher Scientific K.K.の登録商標または商標です。